

公益財団法人 Public Interest Incorporated Foundation  
**似鳥国際奨学財団**  
Nitori International Scholarship Foundation  
— Since 2005 —

公益財団法人 似鳥国際奨学財団 2021.6.1

東京事務所

〒115-0043 東京都北区神谷3丁目6-20 (株)ニトリホールディングス 東京本部内  
メール：nitoriKSZ\_09@nitori.jp (月～金・9:30～18:30)

札幌事務所

〒001-0907 北海道札幌市北区新琴似七条1丁目2-39 (株)ニトリホールディングス 本社内  
(月～金・9:00～18:00)

ホームページはこちら



公益財団法人 Public Interest Incorporated Foundation  
**似鳥国際奨学財団**  
Nitori International Scholarship Foundation  
— Since 2005 —

**2021**



## 代表理事メッセージ

# 『逆境こそ最大のチャンス』と捉え、 今こそ新たな課題にチャレンジしてほしい

私共の活動に多大なるご支援・ご理解を賜り、深く御礼申し上げます。

公益財団法人 似鳥国際奨学財団は、「日本の暮らしを豊かにする」という株式会社ニトリホールディングスが描くロマンの実現に大きな力を貸して下さったアジア諸国の方々へ恩返しをさせて頂くため、2005年3月に設立し今年で17年目を迎えます。給付型の奨学金事業を通して世界各国の友好親善と人財育成に寄与したいとの思いから、日本国内では、外国人留学生、日本人大学生、高校生、中学生まで支援を広げてまいりました。海外においても現地の大学生を支援し、これまでに国内外合わせて43の国と地域、延べ7,040名の学生の皆さんを支援させて頂くことが出来ました。

2020年度は、日本だけではなく世界が今までに体験したことのない未曾有の危機に直面し、本当に大変な一年でした。こんな時こそ、時間の使い方を工夫すべきです。取り組むべき改善・改革を推し進めるチャンスなのです。みんなが同じように大変な状態ですから、やり方、方法を考えることで逆にプラスに転じることも可能です。自ら考えて行動を起こすことが今後の人生の飛躍に繋がるはずです。『逆境こそ最大のチャンス』と捉え、皆

さんのロマンを実現するために、新たな課題にチャレンジをしてほしいと願っています。失敗しても経験は必ず大きな財産となります。ピンチの時こそ前向きに進んでほしいと思います。2021年度も皆さんのお声を受け止めながら、より一層確かな歩みを進めていく決意を述べて、ご挨拶とさせていただきます。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、一日でも早く穏やかで活気に満ちた日常に戻れますよう心よりお祈り申し上げます。

公益財団法人 似鳥国際奨学財団  
代表理事 **似鳥 昭雄**



## 役員等一覧 (敬称略)

2021年5月末現在

|          |                            |                             |
|----------|----------------------------|-----------------------------|
| 代表理事     | にとり あきお<br><b>似鳥 昭雄</b>    | 株式会社ニトリホールディングス 代表取締役会長兼CEO |
| 業務執行理事   | にとり はるき<br><b>似鳥 靖季</b>    | 公益財団法人似鳥文化財団 業務執行理事         |
| 理事／選考委員  | よしむら さくじ<br><b>吉村 作治</b>   | 東日本国際大学 学長 早稲田大学 名誉教授       |
| 理事       | すぎた りょうき<br><b>杉田 亮毅</b>   | 株式会社日本経済新聞社 参与              |
| 理事       | たなか けん<br><b>田中 健</b>      | 那須オルゴール美術館 館長               |
| 理事       | はりの ひろし<br><b>播野 裕史</b>    | 株式会社サーフビレッジ 代表取締役会長         |
| 評議員      | ながせ とおる<br><b>長瀬 透</b>     | 政策研究大学院大学 客員教授              |
| 評議員      | たにくち りょういち<br><b>谷口 良一</b> | 株式会社パワーズポート 代表取締役           |
| 評議員／選考委員 | しら い としゆき<br><b>白井 俊之</b>  | 株式会社ニトリホールディングス 代表取締役社長兼COO |
| 監事       | なかむら もとひこ<br><b>中村 元彦</b>  | 中村公認会計士事務所 所長 千葉商科大学 教授     |

## 奨学金のご案内

いずれも返済義務のない給付型奨学金です。  
〈詳しくはホームページをご確認下さい。〉

### 留学生 | 上期・下期合わせて最大100名

- 日本以外の国籍を有する者。
- 在留資格は「留学」で、日本国内で居住または居住予定の者。
- 日本国内の大学の学部課程または大学院の修士課程に在籍もしくは在籍予定の私費留学生。

### 大学生 | 上期・下期合わせて最大100名

- 日本国籍または日本の永住権か定住権を有する者。
- 日本国内の大学の学部課程または大学院の修士課程に在籍もしくは在籍予定の者。

### 高校生 | 上期・下期合わせて最大100名

- 日本国籍または日本の永住権か定住権を有する者。
- 日本国内の高等学校(全日制)または高等専門学校(本科)に在籍もしくは在籍予定の者。

### 中学生 | 上期・下期合わせて最大100名

- 日本国籍または日本の永住権か定住権を有する者。
- 日本国内の中学校に在籍もしくは在籍予定の者。
- ひとり親家庭(父子家庭・母子家庭)の者。

### 提携する大学に在籍する学部生および大学院生

- 学業成績優秀、志操堅実で社会貢献および国際友好親善の活動に積極的に参与しうる者。

### 国内大学生向け奨学金 〈自由応募の中から奨学生を決定〉

### 国内高校生向け奨学金 〈自由応募の中から奨学生を決定〉

### 国内中学生向け奨学金 〈自由応募の中から奨学生を決定〉

### 海外奨学金 〈学校推薦にて奨学生を決定〉

## CONTENTS

### 2 | 代表理事メッセージ

### 2 | 役員等一覧

### 3 | 奨学金のご案内

### 4 | 16年のあゆみ

### 6 | 国内大学生向け奨学金

### 8 | 国内高校生向け／中学生向け奨学金

### 9 | TOPICS

### 10 | 海外奨学金

### 12 | イベント紹介

### 18 | 2021年度 奨学生紹介

### 20 | 卒団生からのメッセージ

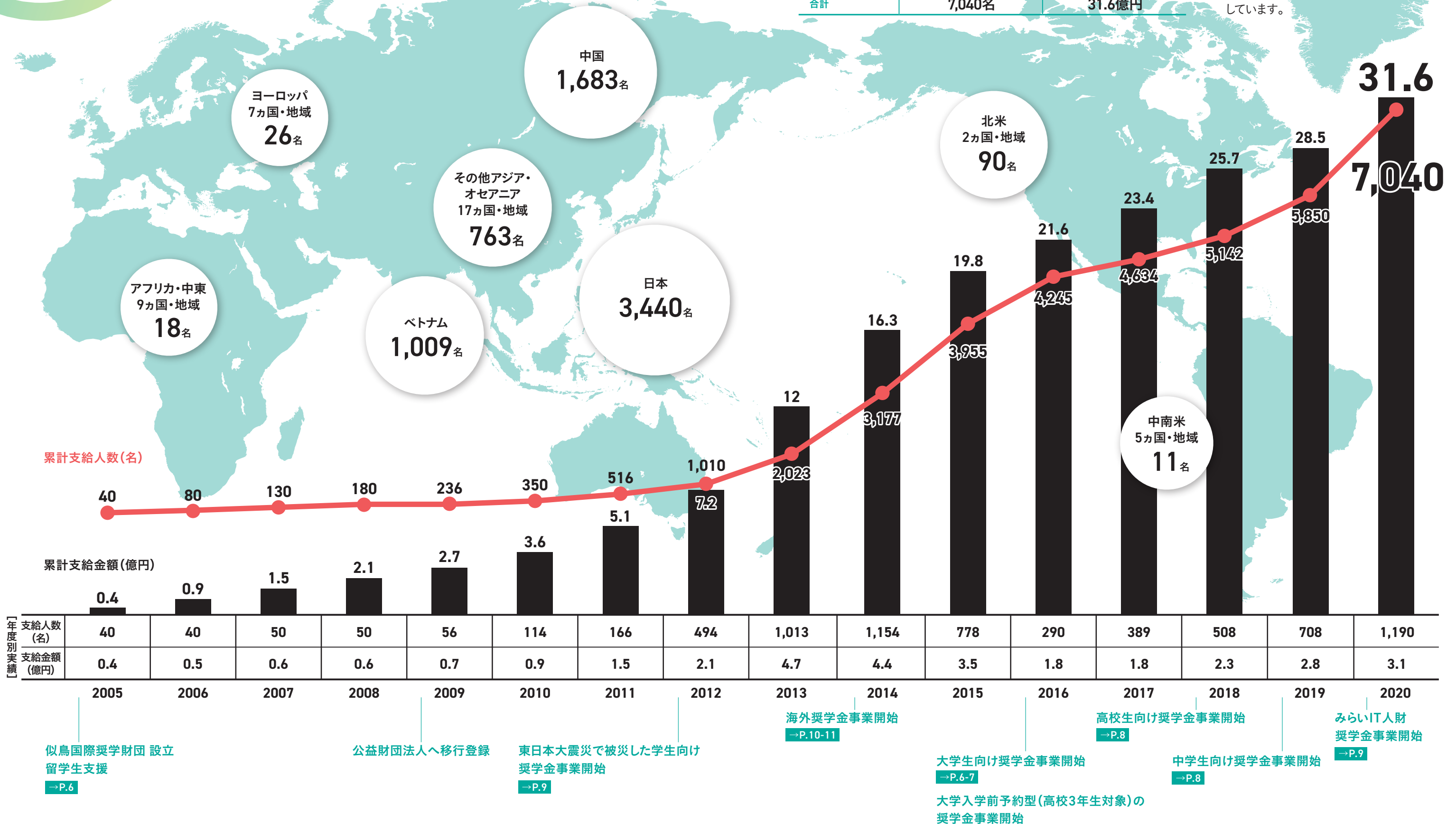
### 22 | NITORI CLUB(OB・OG会)

# 43の国と地域、延べ7,040名を支援

2005～2020年度 累計支給人数と累計支給金額 内訳(2021年3月末現在)

|         | 支給人数   | 支給金額   |
|---------|--------|--------|
| 日本国内奨学金 | 4,763名 | 28.0億円 |
| 海外奨学金   | 2,277名 | 3.6億円  |
| 合計      | 7,040名 | 31.6億円 |

似鳥国際奨学財団は2005年の設立後、給付型奨学金(返済義務のない)の支援を国内・海外を問わずさまざまな形で広げてきました。国内からは自由応募、海外からは学校推薦で奨学生を選定しています。



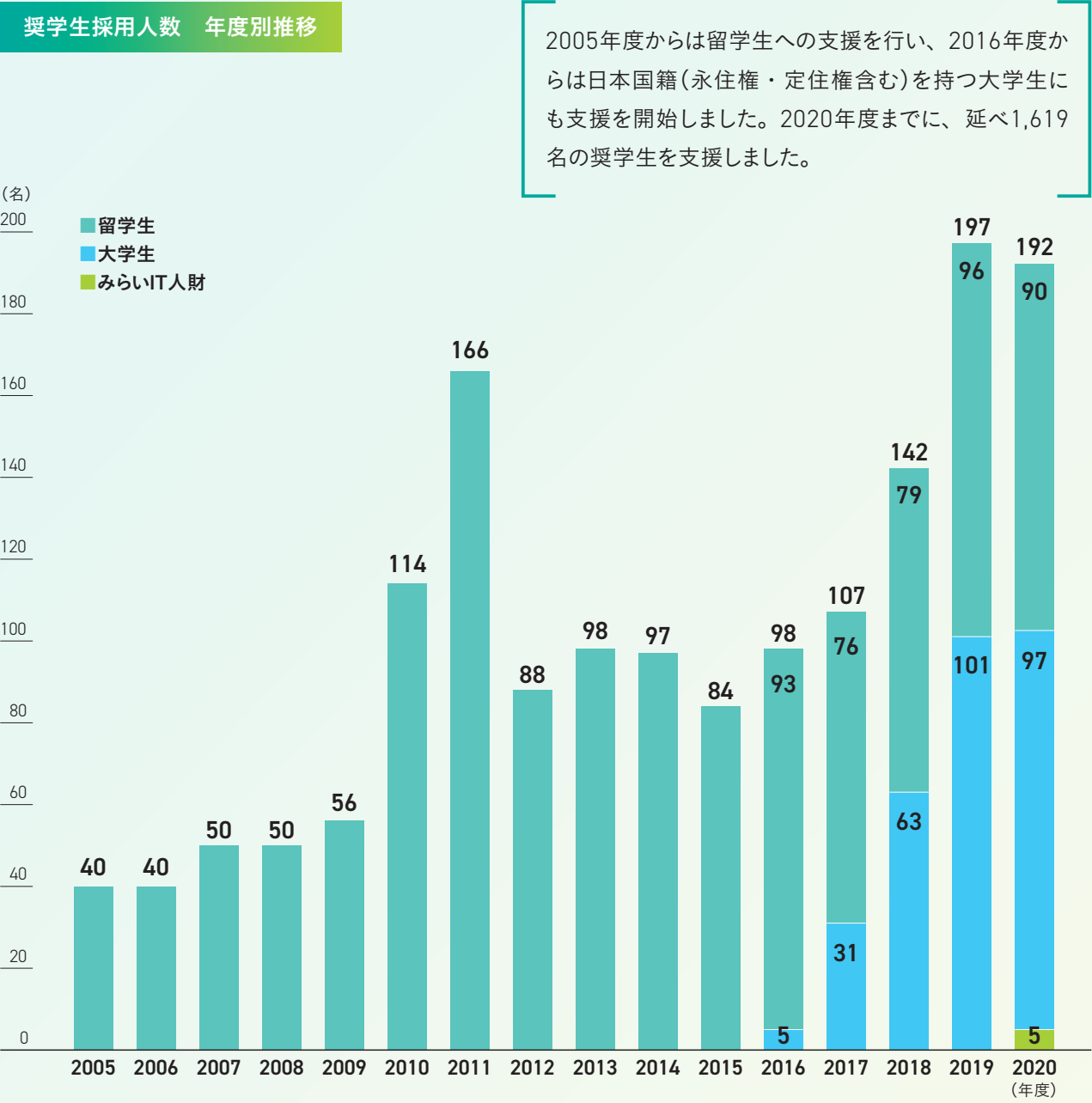
国内大学生向け奨学金

返済義務のない給付型奨学金で、自由応募の中から奨学生を決定します。

対象者 留学生・大学生・みらいIT人財

志操堅実、学力優秀、目標に向かって積極果敢に挑戦し続ける者。

奨学生採用人数 年度別推移



2005年度からは留学生への支援を行い、2016年度からは日本国籍(永住権・定住権含む)を持つ大学生にも支援を開始しました。2020年度までに、延べ1,619名の奨学生を支援しました。

出身国・地域別 奨学生採用人数 (2005～2020年度累計)

|                      | 出身国・地域    | 人数  |
|----------------------|-----------|-----|
| 20カ国・地域<br>累計 1,553名 | 中国        | 773 |
|                      | 日本        | 300 |
|                      | ベトナム      | 129 |
|                      | 韓国        | 123 |
|                      | 台湾        | 56  |
|                      | モンゴル      | 36  |
|                      | インドネシア    | 24  |
|                      | マレーシア     | 18  |
|                      | スリランカ     | 16  |
|                      | カンボジア     | 13  |
|                      | バングラデシュ   | 13  |
|                      | インド       | 12  |
|                      | ラオス       | 12  |
|                      | ミャンマー     | 10  |
|                      | タイ        | 7   |
|                      | ネパール      | 6   |
|                      | フィリピン     | 2   |
|                      | シンガポール    | 1   |
|                      | パキスタン     | 1   |
|                      | バブアニューギニア | 1   |
| 7カ国・地域<br>累計 26名     | ウズベキスタン   | 12  |
|                      | フランス      | 4   |
|                      | ロシア       | 3   |
|                      | オーストリア    | 2   |
|                      | スペイン      | 2   |
|                      | ルーマニア     | 2   |
|                      | ウクライナ     | 1   |
| 9カ国・地域<br>累計 18名     | イラン       | 5   |
|                      | カメルーン     | 3   |
|                      | ケニア       | 2   |
|                      | ナイジェリア    | 2   |
|                      | ルワンダ      | 2   |
|                      | コートジボワール  | 1   |
|                      | ザンビア      | 1   |
|                      | セネガル      | 1   |
|                      | タンザニア     | 1   |
|                      | メキシコ      | 4   |
| 5カ国・地域<br>累計 11名     | コロンビア     | 3   |
|                      | ペルー       | 2   |
|                      | エクアドル     | 1   |
| 2カ国・地域<br>累計 11名     | コスタリカ     | 1   |
|                      | アメリカ      | 8   |
|                      | カナダ       | 3   |

大学別 奨学生採用人数 (2005～2020年度累計)

| 大学名      | 人数  | 大学名           | 人数 |
|----------|-----|---------------|----|
| 東京大学     | 174 | 東京外国語大学       | 9  |
| 早稲田大学    | 145 | 東京学芸大学        | 9  |
| 京都大学     | 116 | 東京都立大学        | 9  |
| 大阪大学     | 96  | 東京理科大学        | 9  |
| 名古屋大学    | 96  | 名古屋工業大学       | 9  |
| 筑波大学     | 61  | 奈良女子大学        | 9  |
| 慶應義塾大学   | 58  | 北海学園大学        | 9  |
| 東京工業大学   | 50  | 明治学院大学        | 9  |
| 一橋大学     | 49  | 茨城大学          | 8  |
| 神戸大学     | 46  | 国際基督教大学       | 8  |
| 北海道大学    | 40  | 東京農工大学        | 8  |
| 横浜国立大学   | 38  | 横浜市立大学        | 8  |
| 電気通信大学   | 37  | 大阪市立大学        | 7  |
| 明治大学     | 35  | 大阪産業大学        | 7  |
| 東北大学     | 31  | 埼玉大学          | 6  |
| 千葉大学     | 29  | 岐阜大学          | 5  |
| 九州大学     | 21  | 高崎経済大学        | 5  |
| 同志社大学    | 21  | 日本大学          | 5  |
| 上智大学     | 20  | 三重大学          | 5  |
| 信州大学     | 20  | お茶の水女子大学      | 4  |
| 中央大学     | 20  | 国際教養大学        | 4  |
| 滋賀大学     | 16  | 国士舘大学         | 4  |
| 立命館大学    | 16  | 静岡県立大学        | 4  |
| 関西大学     | 15  | 津田塾大学         | 4  |
| 関西学院大学   | 15  | 東京海洋大学        | 4  |
| 宇都宮大学    | 13  | 豊橋技術科学大学      | 4  |
| 山梨大学     | 13  | 奈良先端科学技術大学院大学 | 4  |
| 長岡技術科学大学 | 12  | 新潟大学          | 4  |
| 学習院大学    | 11  | 広島大学          | 4  |
| 法政大学     | 10  | 山形大学          | 4  |
| 青山学院大学   | 9   | 立教大学          | 4  |
| 金沢大学     | 9   | その他           | 85 |

奨学生進路一覧

**国内就職先**  
(株)IHI／秋田県教員／アクセンチュア(株)／(株)朝日新聞社／アサヒビール(株)／Aid for Child Trust／SMBCE日興証券(株)／日本電気(株)／(株)エヌ・ティ・ティ・データ／(株)岡村製作所／カゴメ(株)／関東学院大学／(株)キーエンス／京セラ(株)／京都大学／(株)クボタ／KDDI(株)／講談社／ゴールドマン・サックス証券(株)／(株)サイバーエージェント／東日本旅客鉄道(株)／JXTGエネルギー(株)／(株)ジェシービー／(株)資生堂／(株)シティ・コム／(株)島津製作所／清水建設(株)／シャープ(株)／スタンダードチャータード銀行／(株)セブンイレブンジャパン／ゼネラル・エレクトリック・カンパニー／ANAホールディングス(株)／ソニーマーケティング(株)／ソフトバンク(株)／大成建設(株)／太陽日酸(株)／中国信託商業銀行／筑波大学／デロイトトーマツコンサルティング合同会社／(株)電通／東京大学／(株)東京スター銀行／公益財団法人東京動物園協会／(株)東芝／東レ(株)／戸田建設(株)／日揮(株)／(株)日建設計／日産自動車(株)／日清食品(株)／(株)ニトリホールディングス／日本アイ・ビー・エム(株)／一般財団法人日本海事協会／日本航空(株)／日本生命保険相互会社／日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)／日本たばこ産業(株)／日本通運(株)／日本マイクロソフト(株)／野村證券(株)／(株)野村総合研究所／(株)博報堂DYメディアパートナーズ／(株)パナソニック(株)／(株)日立システムズ／(株)日立製作所／ファースウェイ・ジャパン華為技術日本(株)／富士通(株)／(株)船井総合研究所／(株)ベネッセコーポレーション／(株)みずほ銀行／みずほ証券(株)／(株)三井住友銀行／三井物産(株)／三菱商事(株)／三菱電機(株)／(株)三菱UFJ銀行／ヤフー(株)／ユニ・チャーム(株)／LINE(株)／楽天(株)／(株)リクルートホールディングス／立命館大学／他多数

**海外就職先**  
Alibaba Group Holding Limited／DHL／Hewlett-Packard Company／Mitsubishi Chemical (China) Co., Ltd.／長榮航空／Deloitte Touche Tohmatsu／江蘇恒瑞医薬股份有限公司／國立臺灣海洋大學(台湾)／湖南大學校(韓国)／全州大学校(韓国)／淡江大學(台湾)／德碩管理咨询上海有限公司／ドンズ-日本語学校・ダナン校／似鳥(中国)投资有限公司／無印良品(上海)商業有限公司／(株)三井住友銀行／三菱ケミカル／美的集団／他多数

**進学先(大学院 修士・博士課程)**  
大阪大学／学習院大学／九州大学／京都大学／慶應義塾大学／神戸大学／筑波大学／東京工業大学／東京大学／東北大学／明治大学／早稲田大学／他多数



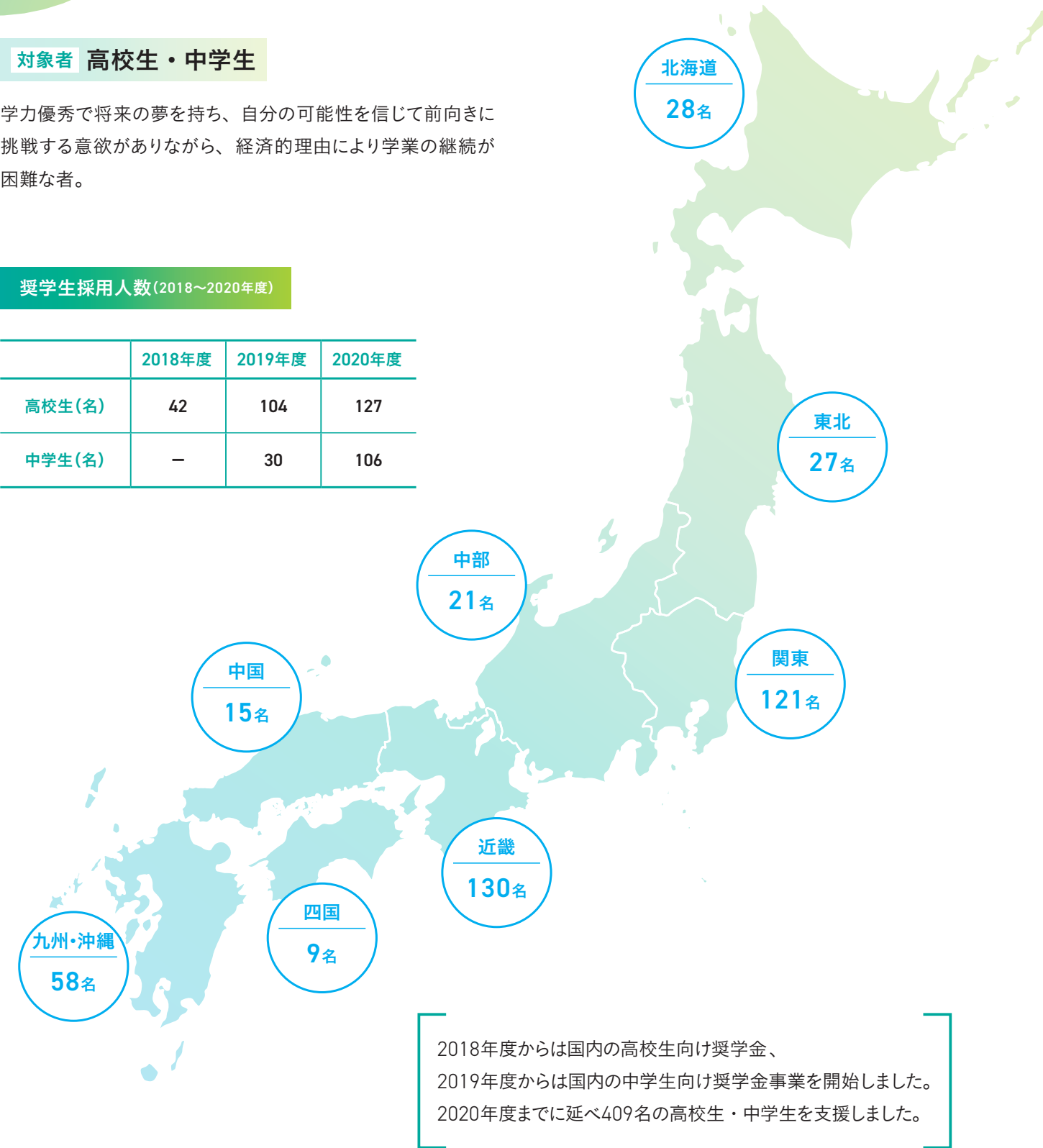
# 国内高校生向け／中学生向け奨学金

返済義務のない給付型奨学金で、自由応募の中から奨学生を決定します。

対象者 高校生・中学生

学力優秀で将来の夢を持ち、自分の可能性を信じて前向きに挑戦する意欲がありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者。

| 奨学生採用人数(2018～2020年度) |        |        |        |
|----------------------|--------|--------|--------|
|                      | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
| 高校生(名)               | 42     | 104    | 127    |
| 中学生(名)               | —      | 30     | 106    |



## TOPICS

2012～2015

### 東日本大震災で被災した学生を支援する奨学金事業

2011年の東日本大震災の発生後、当財団では翌2012年より被災した学生向けの返済義務のない給付型奨学金事業を開始しました。経済的な理由から就学が困難となった学生を支援し、将来社会に出て必要となる知識を身につけることを諦めてほしくないとの思いから、高等学校に進学する学生を対象に、4年間で延べ2,735名を支援しました。

|          | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度   | 2015年度 |
|----------|--------|--------|----------|--------|
| 採用人数(名)  | 406    | 915    | 907      | 507    |
| 支給金額(万円) | 9,807  | 33,594 | 27,829.5 | 18,201 |

**■支給期間**  
高等学校3年間

**■募集対象地域**  
東日本大震災の被災地域3県  
(岩手県・宮城県・福島県)

**■募集対象者**

- 東日本大震災発生時に、岩手県・宮城県・福島県のいずれかの中学校に在籍し、高等学校に進学予定の学生
- 東日本大震災の影響により、経済的援助を必要とする学生

2019～

### 大学院生向けの奨学金制度「みらいIT人財」

政府は、目指すべき未来社会の姿として「超スマート社会－Society5.0－」を掲げています。その実現には、技術基盤の強化を安定的に支える大勢のIT人財の育成と確保が急務です。当財団は、この社会的要請に応じるべく、「みらいIT人財奨学金」を創設しました。文部科学省の「数理データサイエンス係わる教育強化」事業の取り組みを推進し、IT技術を駆使して日本、そして世界の未来を担うIT人財の育成を支援してまいります。デジタル技術やデータサイエンスの利活用により、地域社会の課題や新たな側面からの解決方法が可視化され、全く新しいビジネスを創造することも可能となります。

株式会社ニトリホールディングスは、文部科学省の数理およびデータサイエンスに関わる教育強化事業の拠点校に指定されている北海道大学、札幌市と連携し、2019年以来、IT人財育成のための様々な取り組みを進めてきました。2021年3月には、この連携に北海道も加わり、4者による連携協定を締結いたしました。「みらいIT人財奨学金」は、この産官学連携を推進するものです。数理・データサイエンスの分野で優れた研究業績を有する大学院生が、日本、世界で未来社会の創造を先導し、担っていく優秀なIT人財に成長されるように期待しています。また北海道がIT人財輩出の場、更には研究と事業への利活用、応用が好循環するIT人財が活躍しやすい一大拠点となっていけるよう、この奨学金制度を通じて貢献してまいります。

- 本奨学金制度の特徴**
- 科学イノベーション創出の鍵となる人財育成に特化した奨学金制度である点
  - 研究業績や社会貢献に対する積極性が奨学金給付のための重要な要素となっている点

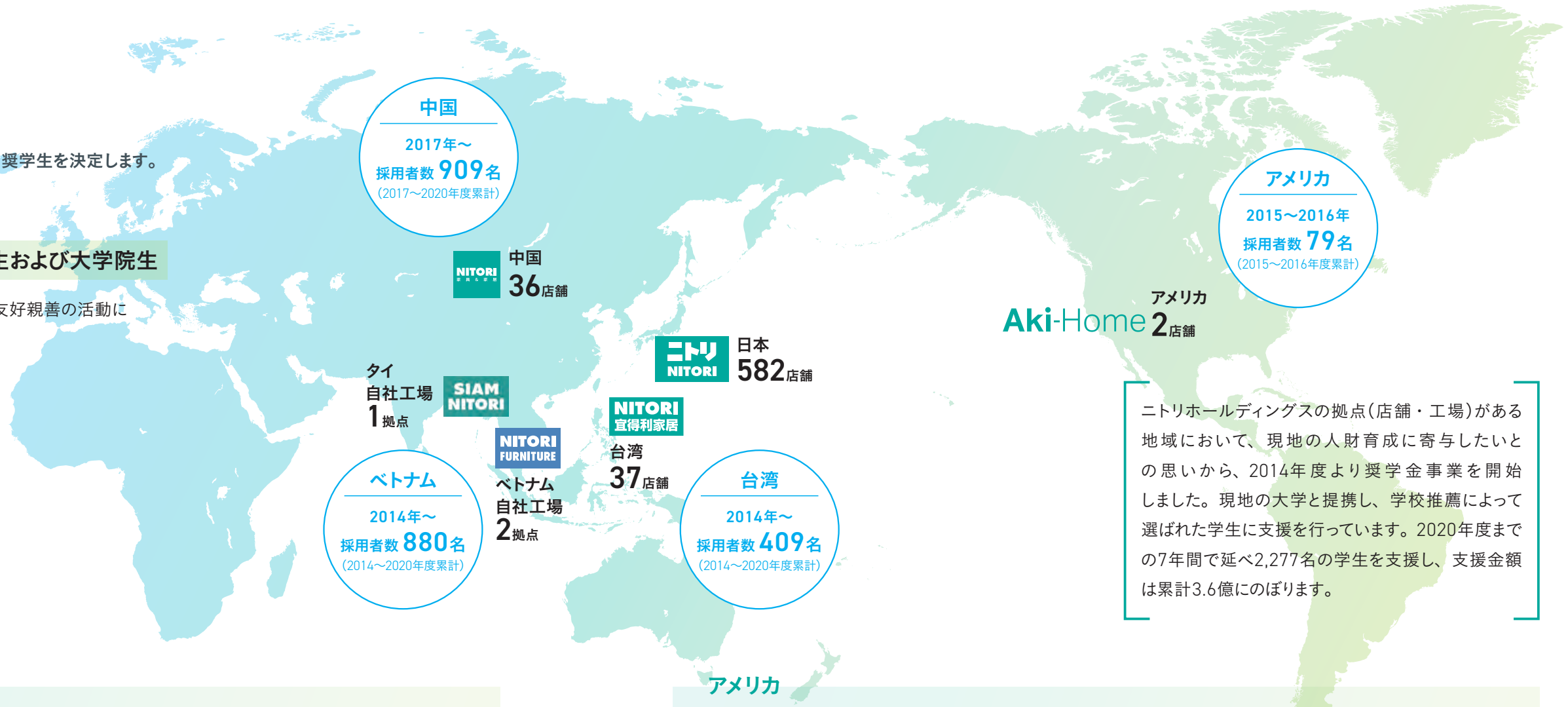


海外奨学金

返済義務のない給付型奨学金で、学校推薦により奨学生を決定します。

対象者 提携する大学に在籍する学部生および大学院生

学業成績優秀、志操堅実で社会貢献および国際友好親善の活動に積極的に参与しうる者。



ニトリホールディングスの拠点(店舗・工場)がある地域において、現地の人財育成に寄与したいとの思いから、2014年度より奨学金事業を開始しました。現地の大学と提携し、学校推薦によって選ばれた学生に支援を行っています。2020年度までの7年間で延べ2,277名の学生を支援し、支援金額は累計3.6億にのびります。

台 湾

2014年から7年間で409名を支援し、  
合計40,900,000TWD(日本円で約15,869万円)を支給しました。  
※1TWD=3.88円で計算

年度別奨学生採用人数

|         | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 採用人数(名) | 50     | 50     | 50     | 48     | 64     | 72     | 75     |

大学別 採用人数(2020年度までの累計)

台湾大学(175)／淡江大学(48)／東海大学(42)／台北科技大学(22)／中山大学(19)／中興大学(18)／中正大学(18)／東呉大学(14)／台中科技大学(11)／成功大学(10)／台湾師範大学(10)／高雄大学(6)／高雄科技大学(6)／嘉義大学(5)／東華大学(5)

アメリカ

2015年から2年間で79名を支援し、  
合計375,000USD(日本円で約4,056万円)を支給しました。  
※1USD=108.17円で計算

年度別奨学生採用人数

|         | 2015年度 | 2016年度 |
|---------|--------|--------|
| 採用人数(名) | 37     | 42     |

大学別 採用人数(2016年度までの累計)

カリフォルニア州立工科大学：ポモナ校(20)／カリフォルニア州立大学：ドミンゲズヒルズ校(20)／カリフォルニア大学：アーバイン校(14)／カリフォルニア州立大学：フラートン校(10)／チャップマン大学(10)／南カリフォルニア大学(5)

ベトナム

2014年から7年間で880名を支援し、  
合計11,440,000,000VND(日本円で約5,376万円)を支給しました。  
※1VND=0.0047円で計算

年度別奨学生採用人数

|         | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 採用人数(名) | 100    | 100    | 100    | 100    | 100    | 180    | 200    |

大学別 採用人数(2020年度までの累計)

ハノイ工科大学(150)／ハノイ工業大学(150)／国民経済大学(70)／ハノイ大学(70)／ハノイ貿易大学(70)／ハノイ公開大学(40)／ハノイ工業美術大学(40)／ハノイ交通運輸大学(30)／ハノイ国家大学(30)／ハノイ商科大学(30)／ホーチミン工科大学(30)／アカデミーオブファイナンス(20)／外国語大学(20)／交通技術大学(20)／農業大学(20)／ハノイ電力大学(20)／バリアブントウ大学(20)／ホーチミン市技術教育大学(20)／ホーチミン市工業大学(20)／ハノイ師範大学(10)

中 国

2017年から4年間で909名を支援し、  
合計6,290,000RMB(日本円で約10,491万円)を支給しました。  
※1RMB=16.68円で計算

年度別奨学生採用人数

|         | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 採用人数(名) | 134    | 160    | 125    | 490    |

大学別 採用人数(2020年度までの累計)

天津大学(60)／同济大学(60)／南京大学(60)／武漢大学(60)／浙江大学(55)／南開大学(55)／四川大学(54)／華中師範大学(40)／華東師範大学(40)／上海海事大学(40)／上海對外經貿大学(40)／南通大学(40)／北京大学(40)／西南交通大学(34)／上海大学(30)／西安外国語大学(30)／深圳大学(20)／大連外国語大学(20)／東華大学(20)／東南大学(20)／北京師範大学(20)／中華人民大学(15)／湖南大学(14)／重慶大学(14)／西安交通大学(14)／中南大学(14)

※拠点数(店舗・工場) 2021年5月末現在



## ～イベント紹介～

似鳥国際奨学財団では年間を通してさまざまなイベントが行われています。

毎年開催される奨学金授与式や交流会は、

代表理事をはじめご来賓の方々から直接アドバイスをいただいたり、

仲間のスピーチに刺激を受けたりと、奨学生にとって非常に実りの多い交流の場です。

他にも観劇や史跡訪問など、その土地の文化や歴史への理解を深めてもらう機会や、

奨学生とOB・OGがつながるイベントなど、国や年代を越えて交流できる機会を多く設けています。

2020年度は、社会情勢を考慮し、やむを得ずイベントの開催を見送りました。

これまでに開催した奨学生の笑顔があふれるイベントの一部をご紹介します。



## Event 01 大学生 奨学金授与式 兼 交流会



日程 2019年3月31日  
場所 ホテルニューオータニ東京  
参加者 222名(奨学生(OB・OG含む)193名、ご来賓4名、財団役員7名、(株)ニトリホールディングス役員・マネージャー18名)

### 代表理事講話



奨学生に向けて20代の心得と、卒団生にエールを送りました

### 卒団生代表挨拶



2018年入団  
東京大学 大学院  
新領域創成科学研究科  
成 潜魏さん

財団は研究に集中できる環境を与えてくれただけではなく、視野を広げる場であり、さらに新たな自分を発見する場にもなりました。奨学生の大学生で起業している後輩に出会ったときは驚きました。他国の友人ができ、議論を深めながら異文化の魅力を感じました。仲間とお互いに励ましあいながら徹夜をして、論文を完成させることもありました。財団を通じて幅広い分野の優秀な人に出会えたことは、本当にありがたいことです。

大学では建築学を専攻し、南半球のスラムを走り回って、人間、モノ、環境を含めたエコロジーを見出し、厳しい地球環境の中でも資源のマネジメントや持続可能な方法によってグローバル都市のスラム危機を解決することを目標にして、研究に取り組みました。皆様も各自の専門分野で活躍していると思いますが、今日は私たちにとってゴールではなく、スタートです。周囲に目を向けてみると、環境問題や資源問題、貧困問題など、地球規模で多くの問題が山積みとなっています。こうした問題に対応するためにも、これから一人ひとりが、財団から学んだ感謝と責任を使命にして、自分の目で社会をみつめ、精一杯自分の持てる力を発揮する、そのことが同時に、私たちをここまで導いてくださった財団への恩返しにもなると考えております。

今でもはっきり覚えていますが、入団式の日、代表理事は次のようにおっしゃいました。「どんな人でも、ロマンとビジョンさえあれば、何かしらの功を成せる」と。いま改めてこの言葉を噛みしめ、この奨学生であることを誇りに思い、小さなことでも、自分なりの夢を持ち、ここで受けた恵みを、より広く社会へと還元していく責任を強く自覚しなければなりません。そして日本や母国のために、ひいては世界のために大きく貢献できる人間になることを目指して、卒団生一同今後とも精進してまいります。

### 入団・卒団証書授与



代表理事が、今後の期待を込めて証書を手渡しました

### 乾杯挨拶



ニトリホールディングス社外取締役安藤隆春様(元警察庁長官)より乾杯のご挨拶をいただきました

### 歓談



代表理事は奨学生全員と握手を交わしました

### 六義園訪問



名物のしだれ桜と日本庭園の美しさを体感しました



Event  
02

## 中学生・高校生奨学金授与式 兼 交流会



**日程** 2019年12月22日  
**場所** ニトリ東京本部  
**参加者** 232名(奨学生(中学生27名、高校生84名、大学生/OB・OG18名)、保護者91名、財団役員7名、(株)ニトリホールディングス役員5名)

### 代表理事講話



奨学生に向けて、自分の可能性を信じて様々な事に挑戦してほしいと熱く語りました

### スピーチ



高校生2名と中学生2名が将来の夢を語りました

### 乾杯のあいさつ

世の中にはいろんな社会貢献があります。これは義務ではなく権利としてやられる方がいますが、似鳥代表理事やこの財団もそのカテゴリーに入ります。義務感でやると相手にも義務を求める可能性があります。権利で行う場合は皆さんに何かを要求するわけではありません。唯一期待することは、一生懸命勉強すること。もちろん皆さんは勉強に励んでいらっしゃると思います。また、身の丈に応じて、社会貢献ができる人に成長してってください。今日は多くの人と交流して、勉強のため、社会貢献のための糧としていかれることを祈念します。

### 財団役員入場



財団役員がサンタやトナカイに扮して参加者を楽しませました

### 乾杯挨拶



長瀬 透 評議員より乾杯のご挨拶をいただきました

### クイズ大会&クリスマス大抽選会



クイズの優勝チーム大抽選会の当選者にサンタからクリスマスプレゼントが手渡されました

### 余興



奨学生とOB・OGが踊りや歌でステージを盛り上げました



Event  
03

## アメリカセミナー



アメリカの豊かな暮らしを体感すべく、チェーンストア企業の最新の取り組みや商品の視察を行い、現地のモデルルームの見学を実施しました。学生たちは、その成果発表を行うだけでなく、現地で調達した商品でコーディネートを考え、ファッションコンクールを行いました。2014年度から2018年度まで合計5回開催しています。

### 過去のアメリカセミナー開催実績

| 年度     | 参加者 | 期間              |
|--------|-----|-----------------|
| 2014年度 | 50名 | 5泊7日 3/ 5～3/11  |
| 2015年度 | 44名 | 5泊7日 6/10～6/16  |
| 2016年度 | 31名 | 8泊10日 6/ 1～6/10 |
| 2017年度 | 28名 | 8泊10日 5/14～5/23 |
| 2018年度 | 30名 | 8泊10日 5/17～5/26 |

### 講義&視察

チェーンストアの理論を講義で学び、企業ごとにどのように実践されているのかを実際に目で見て調査しました。



### ファッションコンクール

設定の金額の中でテーマに沿ったコーディネートを披露。アメリカのチェーンストアでは、簡単に色やテイストがつけられることを実感できます。



### 成果発表

グループ内での知見を共有しながら調査結果に基づいて結論をまとめ、「ニトリへの提案」として200名の前でプレゼンを行いました。



### 自由行動

仲間たちと楽しい時間を過ごしなが、現地の食や歴史などを通じて、アメリカの文化に対する理解と学びを深めます。





## 海外奨学金授与式 兼 交流会



似鳥国際奨学財団は、2018年に北京大学に「北京大学NITORI国際奨学金」を設立しました。中国における日本語学部生の育成支援を目的とし、優れた学業成績を修めた学生や様々な分野で力を発揮している学生が安心して学業に励むことができるよう、奨学金を支給しています。2020年末までに、合計30名の学生が奨学金を受給しました。また2018年と2019年に上海で表彰式と交流会を開催しました。北京大学をはじめ、多くの大学の優秀な奨学生を招待し、互いに交流を深めました。

近年、中国と日本は教育の分野で積極的に交流をしており、また教育以外の分野でも親密な協力関係を築いています。似鳥代表理事が会長を務めるニトリグループは利益の追求ばかりでなく、教育福祉事業に関する活動にも取り組み、社会的な責任を果たしている企業です。「北京大学NITORI国際奨学金」は、日本と中国の教育分野での交流を実現し、世界で活躍出来るグローバル人材育成をしたいとの思いからはじまっています。北京大学の優秀な学生に学業を成就するための経済的な支援のみならず、交流会開催など知識と経験を高める機会を提供し、世界を舞台に活躍できる人材の育成の一助となっています。貴財団は北京大学の優秀な学生が中国の更なる発展、そして世界がより繁栄するために努力を惜しまないことを決心させる原動力となっています。奨学生には、よりパワフルで夢とロマンに溢れた新しい未来の力になることを期待します。



祝 辞

北京大学学生部  
副部長

樊 志先生



貴財団は2014年にハノイ工科大学にNITORI国際奨学金を設立しました。これまで7年間計150名の学生が、総額20億ドン(約1,000万円相当)の奨学金を受けました。困難な状況にあるにもかかわらず常に勉学に励む学生への経済的支援のみならず精神的な支援も行ってきた貴財団の慈善行為をハノイ工科大学は高く評価しています。奨学生全員は、優れた学業成績を収められ、国際的な友好親善の強化および社会貢献活動に積極的に参加してきました。

特に、2020年度においては、新型コロナウイルス感染拡大による影響が非常に深刻である状況下、奨学金は一層大きな意味を持ちます。奨学金を受給することになった20名の学生の中には、経済的に困難になり勉学を続けることができなくなるかもしれない学生も多くいました。そのため、この貴重な奨学金を受けることが決まったという知らせに大喜びを表していました。学生によると、貴財団からの支援は本当に有難いうれしさで胸がいっぱいになったそうです。学生全員が奨学金の受給を契機に、夢を実現するためにはどんな困難でも乗り越えたと改めて決意したとのことでした。

『人生においては、思いやりが重要です。』似鳥代表理事の思いやりは奨学生の人生に大きな影響を与えています。今後貴財団が益々成長し、より多くの学生が奨学金を受けられるようになること、また彼ら『ベトナムを、世界を舞台に』自分の夢を実現できることを願っています。



祝 辞

ハノイ工科大学  
学生支援部  
専任

ゲンティアイントウ先生



公益財団法人 似鳥国際奨学財団は、2014年台湾大学に「NITORI国際奨学金」を設立しました。NITORI国際奨学金は、台湾大学で唯一日本研究を奨励する奨学金であり、日本研究を行う学生の皆さんにとっては、大変大きな励みとなりました。日本研究事業に寄与していただいた貴財団に心よりお礼申し上げます。グローバル社会となった今日の人文社会学において、自然科学とも協働し新たな学知の創成に、積極的な役割を果たす地域研究は欠かせない重要な課題です。特に日本と密接な関係のある台湾にとっては、NITORI国際奨学金の設立は大変重大な意味があると思っています。

奨学生の選抜は、主に文学部の日本研究センターによって行われており、日本研究センターの主任としてこの奨学金に関われることを、大変光栄で嬉しく思っています。2020年までに、7年間で合計175名の学生が奨学生として選ばれました。奨学生の皆さんは、貴財団の奨学金を受け研究に専念できたことで、大変優秀な成績を残すことができました。僭越ながらこの場を借りて、国境を越えて人材育成に貢献する代表理事のご善行に謹んで感謝申し上げます。そして貴財団事務局の皆様にも感謝申し上げますとともに、ますますのご健勝を祈念いたします。



祝 辞

台湾大学 文学部  
日本研究センター 主任

林 立萍先生



## 2021年度 奨学生紹介

# 夢への一歩がはじまる

### 留学生



明治学院大学 法と経営学研究科  
中国出身

**Y.H さん**

新型コロナウイルスの影響により不安を抱えている中で、似鳥国際奨学財団の支援のおかげで研究に専念することができ、とても感謝しております。

私は大学院で貧困・格差などの社会的課題や、その解決策としてマイクロファイナンス(以下「MF」という)を研究しています。MFとは、通常の金融サービスから排除された貧困層に向けて、無担保・無保証の少額融資を提供する新しい金融サービスです。2006年にムハマド・ユヌスがグラミン銀行と共にノーベル平和賞を受賞したことをきっかけにこのサービスは、世界各国に広がり注目されています。しかし、新しい金融サービスとして問題点も浮かび上がってきました。その問題と原因を検討し、MFが直面している課題は何か、MFをさらに発展させるための方策を提言したいと考えています。将来の夢は、MFに関する研究者であると同時に社会起業家になり、貧困緩和という社会的課題を解決することです。



信州大学 繊維学部  
韓国出身

**J.S さん**

私は生物学の2つの分野について学ぶために日本に留学をしました。ひとつはアレルギー分野についてです。アレルギーを持ち苦労している人はとても多いため、アレルギーの発病原因の解明を進めていきたいと思います。もうひとつは人工筋肉の分野です。人工筋肉は介護や製造現場など、体に負荷のかかる仕事に従事する人だけでなく、日常生活においても活用できる可能性があります。この2つの分野を大きく成長させ、若者からお年寄りまで多くの人々に貢献することが私の夢です。夢を実現するためには2つの分野の知識の習得だけではなく、経営、マーケティング、心理など様々な分野に対する知識や経験を得ることが必要です。似鳥国際奨学財団には、いろいろな国出身の奨学生が在籍しているので、積極的に交流し、自らのコミュニケーション能力を磨き、相手の意見を尊重できる能力を身につけたいと思います。また異文化交流を通じて、言語、文化、礼儀などを学び自分を成長させたいと考えています。



山梨大学 生命環境学部  
ベトナム出身

**V.T さん**

私の出身地であるベトナムは、美しい自然風景や美味しい南国フルーツがあることで有名ですが、環境汚染が深刻な問題になっています。子供の頃は黒くて臭い川の近くに住んでいて、川のおいを我慢して生活をしていました。この経験から、きれいな水を供給することを通じて、多くの人に幸せを届けることが私の夢になっています。私は夢を実現するため日本に留学しました。環境に関する自然科学の知識、環境問題の背景や概要、歴史、原因、対策などについて大学で日々学んでいます。

新型コロナウイルスの影響により経済的にも大変な時期なので、奨学金をいただけることは本当に有り難いと感じています。アルバイトを控えることができるので、たくさんの勉強時間を確保することができました。学業に専念し、より高度な勉強や研究をしたいと考えています。今後もこの恩を忘れずに真面目に学生生活を送り、就職後も立派な社会人として自立できるよう努力します。



東京大学 農学生命科学研究科  
中国出身

**L.Z さん**

私は大学で応用生命化学を専攻しており、生物でナノ材料を合成する方法を研究しています。学業以外ではバドミントンサークルの活動に力を入れています。現在の工業生産方法は、環境への負荷が大変大きく、人間の生活環境が悪化してしまうため、工業生産方法の革新が急務となっています。材料を生産するために生物を使用する方法は、世界中の研究者によって研究が進んでいます。理論的には環境への害を大幅に減らすことが可能ですが、ほとんどの材料は、技術が成熟していないため、バイオ技術を用いて量産することができません。私の夢はバイオテクノロジーを利用し、効率的に金属材料を作る方法確立することです。日本には現場を見ることができる工場がたくさんあります。奨学金を利用し、日本の各地の工場を訪問したいと考えています。実際に生産現場を見学し、日本企業がどのように環境を守り生産過程において環境への負担を軽減していくのかをしっかりと学びたいと思います。

### 大学生



宇都宮大学 地域創生科学研究科  
日本出身

**F.R さん**

私は学部時代に国際法の授業を受講したことがきっかけで、アフリカの紛争や人権問題に関心を持ちました。2019年にオランダにある国際刑事裁判所を訪問し、国際人道法模擬裁判に参加し、被害者補償や国際刑事法への関心が高まり、紛争で苦しむ人々の生活を改善したいと考えようになりました。大学院では、紛争被害者への支援や、国際刑事裁判所の文書をもとに被害者の権利に関する法的議論についての研究をしています。夢を実現し、社会に貢献するためには国際人権法や国際刑事法に関する専門的な知識を得る必要があると考えているため、海外の大学院進学も視野に入れながら、今後も研究を続けていきたいと思っています。似鳥国際奨学財団の奨学生に採用していただき、毎月の課題のレポートの作成することにより、自分の人生や目標について考え、失敗や反省を繰り返しながら、これからも夢に向かって精進してまいります。



東京工業大学 情報理工学院  
日本出身

**K.Y さん**

私は、大学で機械学習の勉強をしています。高校時代に所属していた将棋部で、人工知能(AI)がタイトル戦の形勢判断をするところに衝撃をうけ、その可能性に興味を持ったことがきっかけでした。特に関心のある「転移学習」は、他の分野で学習した特徴を目的の分野に利用し予測精度を上げる手法で、自動運転や病気の診断などへの応用が期待されています。これを理論的に研究し「世のため人のため」になる成果を残したいと考えています。数学やプログラミングをはじめ、必要とされる知識は幅広く、忙しい日々を送っていますが、似鳥国際奨学財団からの経済的な支援のおかげで、集中して勉強する時間を確保することができました。さらに奨学金を用いて必要なものを購入する事で、勉強の効率化を図っています。また多種多様な奨学生・OBOGの方々と交流を通して、私の世界を広げることができました。今後ますます「似鳥国際奨学財団の輪」が広がることを期待しています。



立命館大学 文学部  
日本出身

**M.H さん**

私は大学で「タスクの繰り返し学習」と「タスクエンゲージメント」の関係性が、英語学習者に対する影響というテーマで研究をしています。私は大学1回生の時に似鳥国際奨学財団の存在を知りご縁があり、入団させていただきました。毎月のレポートは自分自身を見直す良い機会となっています。また、年に2回の交流会では、入団しなければ出会えなかった奨学生と交流することができました。世界各国から来日している方や、今まで見たことも考えたこともないテーマを研究している方と知り合う事ができ、今後も多くの奨学生と出会うことを期待しています。また、今年は卒業論文を提出しなければならない年ですので、今まで以上の読書量が必要となります。より良い卒業論文を制作するために、本や文献の購入のために奨学金を使用しようと考えています。私自身の「教員になる」というロマンを実現するために貴重な奨学金を活用し、未来を切り開いていきます。



鳥取大学 医学部  
日本出身

**M.Y さん**

私は将来、外科も内科も担当でき、幅広い医学知識と高度な技能を兼ね備えた総合診療医として、地元である鳥取県の医療に貢献したいと考えています。今は一般教養科目以外に「基礎運動器学」という講義で骨や筋肉の構造について学んだり、運動器名を覚えたりしています。また「基礎手話言語」という珍しい科目もあり、実際に聴覚に障害がある方と手話を通じて様々なコミュニケーションの取り方なども体験しました。この度、奨学生として採用していただいたことで学業に専念できることに心から感謝しています。高校生の時にも似鳥国際奨学財団の支援をいただき、交流会に参加させていただきました。全国各地から集まった奨学生の話を聞き、クイズ大会で楽しく盛り上がり、とても有意義な時間を過ごすことができました。様々な分野で頑張る奨学生の方と交流することは、良い刺激や励みにもなるので、また参加できることを楽しみにしています。



## 卒団生からのメッセージ

# 夢に向かって世界に羽ばたく

## 留学生

似鳥国際奨学財団の支援がなかったら、私は今頃日本での勉学を諦めたかもしれません。経済的に困難だった私を採用していただき、誠にありがとうございました。無事に卒業し、

日本で就職することができました。財団から頂いた支援を恩返しするため、日本の社会で一生懸命頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



明治大学 経営学部  
韓国出身

**S.T. さん**

ご支援いただいた1年は終わりますが、似鳥国際奨学財団の経済的な支援と、精神的な励ましは一生忘れられません。自分の人生の一番貴重な経験だと思います。この経験を活

かし、卒団後も色々なことにチャレンジしていきたいと思います。最後に、財団の皆様にご心からお礼を申し上げます。



九州大学 地球社会統合科学府  
中国出身

**L.Y. さん**

似鳥国際奨学財団の奨学生に採用していただき、本当にありがとうございました。奨学金による金銭的な支えはとても大きく、自分の好きなサイバーセキュリティの勉強に注力

することができました。これから、奨学生時に学んだ「ロマンとビジョン」「度胸と愛嬌」を肝に銘じ、社会に貢献していきたいです。



東北大学 工学研究科  
マレーシア出身

**H.V. さん**

奨学生に採用していただき誠にありがとうございました。毎月のレポートと、似鳥昭雄代表理事の著書を通じて精神面も成長できたと思います。そのおかげで、社会人になってから

も、困難に立ち向かい、自分の夢をどのように実現するかを明確にすることができました。ありがとうございました。



東京大学 学際情報学府・情報学環  
中国出身

**Y.Z. さん**

## 高校生

高校生活を支えていただき、目標とする東京大学の理科一類に入学することができました。振り返れば、奨学生審査でいち早くオンライン面接を取り入れ、その時の経験が後のオンライン授業へ生かされたことを母と懐かしく振り返っています。交流会で、代表理事のパワフルな姿に勇気をいただきました。再会を楽しみにしています。（高校3年生）

夢を追いかけるのは自由なことなのですが、様々な事情が壁となり難しい場合がたくさんあります。しかし私は似鳥国際奨学財団のおかげで、大きな夢を持ち前向きに頑張れました。背中を力強く押してくださったことで、念願の大学への進学が叶いました。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。（高校3年生）

私は代表理事の、「まずは行動する」という、簡単には諦めない姿勢をととても尊敬しています。私が自分に自信を持って、できないと考えるのではなくどうする必要があるかを具体的に考えて行動していけるようになったのは代表理事のおかげです。沢山の成長の機会をありがとうございました！（高校3年生）

似鳥国際奨学財団に入団でき、本当に幸せでした。似鳥国際奨学財団では社会で大切な記述力やコミュニケーション力などを身につける機会をたくさんいただきました。また、講話の中で「人のため、世のため」という言葉にとっても感動し日々の行動の中で思い出しています。本当にありがとうございました！（高校3年生）

## 大学生

似鳥国際奨学財団は、ただ金銭面を支援してくださるだけでなく、今後の自分のあり方、どう成長していくか、など自分自身を高めるためのヒントをたくさん与えてくれました。「どんな人

でもロマンとビジョンがあれば必ず成功できる」という、代表理事の言葉を忘れずに、これからも目標に向けて突っ走っていこうと思います。ありがとうございました。



京都工芸繊維大学 工芸科学部  
日本出身

**O.R. さん**

「日本で1人でも多くの人がやりがいをもって働ける環境をつくる」これが私のロマンになりました。これまで、自身の将来の選択肢を狭めてしまいがちでした

が、ご支援のおかげで将来の選択肢の幅が広がり、ロマンを実現する第一歩を踏み出せました。感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。



金沢大学 人間社会学域  
日本出身

**K.N. さん**

毎月の奨学金のおかげで、家族が少し気持ちの余裕を持ち、笑顔で生活できたこと、とても感謝しております。また、代表理事の著書を読み、感銘を受けました。特に「今のま

まではいけない。何かを変えよう。」と、一歩踏み出す勇気をもつことができました。今後の似鳥国際奨学財団の更なる発展を楽しみにしています。



大阪大学 基礎工学部  
日本出身

**A.M. さん**

似鳥国際奨学財団からいただいた奨学金で、様々な経験を積むことができ、勉強にも専念することができました。交流会においても様々なバックグラウンドをもつ奨学生と交

流することができ、多くの刺激を受けました。また、代表理事が学生を支援している姿を拝見し、ロマンを叶えるところに多くの人に幸せを届けることができるのだと実感しました。



早稲田大学 政治経済学部  
日本出身

**T.K. さん**

## 中学生

前回の交流会で代表理事が話された「ロマンとビジョンを持つ」という言葉にとっても勇気づけられました。また、私は本の中の「人生は思ったとおりになる。そうならないのは、思い方がまだ足りないからだ」という言葉に強く胸を打たれました。その結果第一志望校に合格することができました。本当にありがとうございました。（中学3年生）

1年間、ありがとうございました。レポートでは、締め切りへの意識ができるようになり、文章を書くことで文章力が高まりました。毎月レポートを書くことで反省点を改善できるよう目標を立て、充実した生活を送る機会をいただきました。このことを活かして、受験生としてこれからの生活を過ごしていこうと思います。（中学2年生）

私がレポートを毎月提出するときに、母はいつも「ありがとう」と言ってくれていました。私はまだ幼く、社会に出てお金を稼ぐことはできません。子供だからお金がかかるので、母の負担になってしまいます。できることは家事のみ。もっと何か出来ることがしたいという想いを似鳥国際奨学財団はかなえてくれました。心より感謝申し上げます。（中学3年生）

似鳥国際奨学財団のおかげで、塾に通わせて頂き、自分の望む勉強ができました。限られた学生にしか与えられない機会を私が頂けたことは、本当に有り難く思っています。学びたいのに学べない学生にとって、財団は希望の光です。今後も、感謝を忘れずに一層精進して参ります。本当に有難うございました。（中学3年生）



## OB・OG会のご紹介

# NITORI CLUB

### 会長メッセージ



2007年入団  
NITORI CLUB会長

#### 範 坤会長

##### Profile

慶應義塾大学卒  
中国出身  
現在はアクセント  
株式会社に勤務。

似鳥国際奨学財団の奨学生の皆さん、OB・OGの皆さん、こんにちは。NITORI CLUBが発足してから、早くも2年目に入りました。2020年には運営委員会のメンバーが中心となり合宿を行い、本格的な活動に向けてコンテンツの計画などを作成しました。その後、活動を順調に進めていた矢先、コロナ禍により対面イベントの実施が難しくなり、オンライン限定イベントの計画や、ネットワーク構築などの環境整備に注力してまいりました。

一年間の活動を経て、いくつかの課題と、方向性の再確認ができました。まず、財団とNITORI CLUBが連携して活動できる運営体制にすることです。奨学生時代に強い絆ができれば、その延長として卒団後も交流が継続しやすくなります。奨学生同士の交流を深め、OB・OGとも交流できるイベントを実施し、未来につながるエンにしていきたいと考えています。また、NITORI CLUBを皆さんの身近に感じてもらえるようにすることも、課題の一つだと考えています。定期的にコミュニティの形成を行い、社内報にあたる内部メディアの発行など、NITORI CLUBの活動を報告できる機会を増やしていきます。

2021年度は、奨学生、OB・OGの皆さんのご意見を一つでも多く取り入れていきたいと思ひます。皆さん、一丸となってNITORI CLUBの壮大なロマンとビジョンを実現していきましょう。最後になりますが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

#### 運営理念

- ・ロマン：NITORIの「エン」を広げ、世界の発展に貢献。
- ・ビジョン：つながりの強化、ネットワーク構築(縁)、個人の成長(延)、社会貢献、社会価値の創出(援)

(運営に興味のある方やNITORI CLUBを盛り上げたい!と思っている方は似鳥国際奨学財団事務局までご連絡ください。)

## 2020年度の活動報告



#### ● 総会

#### ● 中長期会議



#### ● 小型イベント



### 業務執行理事のメッセージ

似鳥国際奨学財団は、設立から今年で17年目を迎えます。人材育成こそ、最大の社会貢献であることを常に心に刻み、財団を運営しております。今まで、国内外延べ7,040名の奨学生を支援してまいりました。奨学生のみなさんは、似鳥国際奨学財団の奨学生となることでお互いに知り合うことができました。出身国や学校が異なる皆さんとの出会いは、奇跡と言っても過言ではありません。交流会で初対面の皆さんが、まるで古くからの友人同士のように言葉を交わしている姿を見て、きっとこのつながりがお互いを人として豊かにし、多くの人々の笑顔を作っていくのだと確信しました。

この皆さんと出会ったご縁を大切に、卒団しても仲間であられるようOB・OG会「NITORI CLUB」を2019年に設立しました。社会人になると、忙しさに追われる生活を送る人も多いと思います。集まることも連絡を取り合うことも難しくなることもあると思います。でも「似鳥国際奨学財団」、「NITORI CLUB」の扉は、いつでも皆さんのために開かれていることを忘れないでほしいです。皆さんから「NITORI CLUB」の活動にご賛同とご協力をいただけるような、OB・OG会を目指していきます。人生は出会いが全てです。「NITORI CLUB」が、皆さんの人生の糧になる様にと願い、ここに挨拶とさせていただきます。

業務執行理事 似鳥 靖季

# NITORI CLUB幹部からのメッセージ

私は、学生時代奨学金を拝受してから、これまでアルバイトに従事していた時間を、学業や、山梨県内の国際交流活動、ボランティア活動など、様々な経験を得る時間にすることができました。交流会に参加し、国籍を越えた仲間も沢山でき、その縁は今も続いており、私の財産になっています。また、代表理事の講話を聴かせていただき「人を喜ばせるために仕事をする」という教えは私にとって今でも原動力となっています。現在、株式会社シングラでアジアを中心に、デジタルマーケティングのコンサルタントを行っています。また今年は、電動モビリティ開発会社を起業しました。仕事を進める上で、つまづくことや、大変なことも多々ありますが、代表理事の「成功の5原則」を読み、前向きに頑張っています。これからも、社会そして人の役に立つように、感謝の気持ちを忘れず邁進していきたいと思ひます。奨学生・OB・OGの皆さんと、沢山交流できることを楽しみにしています。



2011年入団  
ベトナム出身

#### P.A さん

##### Profile

山梨大学を卒業。  
現在は株式会社シングラに勤務。また、株式会社RideXを起業し代表取締役就任。

私は大学院在籍時に支援していただいたおかげで、学業に専念することができました。大学院では統計学をベースにした「マーケティングサイエンス」について研究をしました。具体的には、消費者のアプリ課金データを分析し、消費者のアプリ課金開始・離脱などのタイミングを予測することで、最適なマーケティング施策につなげる研究です。現在はデジタル広告の会社に勤務しており、大学院で学んだ物事を客観的に捉える統計知識は、広告の効果検証や広告予算のアロケーションの最適化など幅広い分野で役立っています。在籍期間中、交流会では多くの仲間と出会うことができ、日本の自然や文化に触れる機会をつくってくれたことに心から感謝しております。奨学生になってから、私は似鳥代表理事のファンになりました。「ロマン、ビジョン、意欲、執念、好奇心」を心に銘記して、これからも日々精進していきたいと思ひます。皆さんも大切なごEN(縁、円)を生かして、ロマン実現させるために頑張しましょう。



2015年入団  
中国出身

#### C.L さん

##### Profile

学習院大学大学院を卒業。  
現在はデジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社に勤務。

私は早稲田大学在学中の2015年の1年間、似鳥国際奨学財団から奨学金を頂きました。奨学生になる前は、朝2時に起床して新聞配達のアバイトなどをしていましたが、奨学金のお陰で学業に専念することができました。修士論文は『A+』という最も高い評価を得ることもできました。似鳥国際奨学財団から支援していただいた奨学金は、私の大きな助けとなりました。今でも感謝の気持ちしかありません。また2015年アメリカセミナーに参加し、米国企業のビジネスモデルで学んだことは、グローバル化社会で活躍できる人材になりたいと決心するきっかけになりました。現在、私は東芝デバイス&ストレージ株式会社に勤務し、世界中の様々なバックグラウンドを持つ人向けに営業の仕事をしています。私の人生を大きく変えてくださった似鳥国際奨学財団に、私なりの恩返しをしたいと考えています。これからもイベントやNITORI CLUBに積極的に参加し、後輩の皆さんとの交流やサポートをしていきたいと思ひます。



2015年入団  
中国出身

#### Z.X さん

##### Profile

早稲田大学大学院を卒業。  
現在は東芝デバイス&ストレージ株式会社に勤務。

私は奨学金のおかげで学業や学外活動に時間を使うことができました。また似鳥国際奨学財団には優秀な学生が多く、交流会やアメリカセミナーを通じて仲間から沢山の刺激を受けました。学部時代は組織論や統計のゼミに所属したほか、<sup>たいてい</sup>跆拳道という武道に熱中していました。サークル活動ですが、部活のように大会で結果を出すことを目指し、厳しい練習をしていました。練習環境の改善や練習の質の向上など、サークル部員が跆拳道に集中できるように、さまざまな方策を練り試行錯誤した経験が、今の仕事でも役に立っています。学業ももちろん大事ですが、学外活動を通じて学ぶ事も多く、とても大事な経験だったと思ひます。今はソフトウェアエンジニアとして主にAndroidアプリの開発に関わっています。心から尊敬できるメンバーと素晴らしいプロダクトの開発に携わることができやりがいを感じています。似鳥国際奨学財団に頂いた様々な支援を、今度は自分が後輩の皆さんにpay forwardしていきたいと思ひます。



2017年入団  
日本出身

#### K.Y さん

##### Profile

早稲田大学を卒業。  
現在は株式会社メルカリに勤務。